

# 第三学年 国語科学習指導案

日時 平成二十九年 十月二十七日(金)  
場所 岐阜市立陽南中学校(西棟三階 アゴラ陽南)  
学級 三年二組(男子二十二名・女子十七名 計三十八名)  
授業者 篠田 陽子

## 一 単元名 未来の地元創造会議 ～「話し合って提案をまとめよう」～

## 二 単元および教材について

価値観や人間関係が多様化し、多くの情報があふれる現代社会において、私たちにはどのような言語能力が必要であるのか。それについては、中央教育審議会から次のような資料が出されている。「自らの思考のプロセスを客観的に捉える力の獲得は、他者からの言葉による働き掛けや思考のプロセスの言語化を通じて行われる。また、言葉を通じて他者とのコミュニケーションを取り、互いの存在について理解を深めていくことにより、思いやりや協調性などを育むことができる。」(初等中等教育分科会「教育課程部会」言語能力の向上に関する特別チームにおける審議の取りまとめより抜粋)これらの能力は今後の社会を担う中学生に必要とされる力であり、それをどのように身に付けるかについては「話すこと・聞くこと」の授業における今日的課題でもあると考えている。

本単元でねらう力は、指導事項エ「話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと」である。その中でも、合意形成に向けて、互いの意見を生かし合うことを付けた力とした。そのために設定した言語活動は、会議である。提案を一つに絞っていくための話し合う場として会議を位置付け、自分たちの意見がより多く反映されることを目指し、各委員会を立ち上げさせた。本時は各委員会で練り上げられた意見を一つの提案に絞っていく話し合いの時間であり、自分たちの意見のよさを生かし、異なる意見を調整しながら、よりよい結論に向かって合意形成を図っていく。そのためには、自分の考えを主張しながらも、相手の意見も尊重し、よりよい結論を導き出していくことが求められる。その点においても、提案を一つにまとめる会議という言語活動の設定が最適であると考えた。

## 三 生徒の実態

県の学習状況調査の結果を見ると、A「話すこと・聞くこと」領域は県平均を15・8ポイント上回っている。しかし、話し合いは苦手だと感じる生徒が多く、知識としては理解できているが、実際に話す場面では、その力が十分に発揮されていない。その要因として、同じ視点で自分の意見と相手の意見を比べ、みんなで新たな考えを創造することに弱さがあると考えられる。そこで、本単元では、同じ願いを共有した仲間たちとよりよい結論を導き出すための話し合いを通して、自分たちの意見を創り出していく楽しさを味わわせたい。

## 四 「生きてはたらく言語能力」の育成について

### 中学校学習指導要領解説 「A 話すこと・聞くこと」 (中) 第三学年より

- ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。
- エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。

### 「生きてはたらく言語能力」一覧表① 「A 話すこと・聞くこと」より

- アイ 話すこと 4 相手や場に応じた話し方や語句の選択、言葉遣いに気を付けて話すことができる。
- エ 話し合うこと 7 話し合いを通して、よりよい結論を求めたり、合意形成して物事を決めたりすることができる。

本単元では、「十年後も残る地域活動」というテーマのもと、実際に生徒たちの声で実現できる活動かどうかを視点にし、提案させるようにした。会議では、各委員会から出された意見について合意形成を図りながら、学級で一つの提案を創り上げていくことにした。その様子を「にぎわいまち公社」(岐阜市の街おこし事業を手掛ける一般財団法人)の方に評価していただくことで、話し合いによってよりよい結論を創り上げる力を実際の場で試せるようにした。

## 五 研究とのかかわり 話すこと・聞くこと部会研究テーマより

### 目的や場面に応じて適切に表現する能力の育成

「言語活動の回数と話す・テーマとの関わりを明確化する指導の工夫」

話し合いを効果的に展開するには、司会者のもとより、それ以外の立場でも話し合いの進行状況に応じて自分の考えを述べる必要がある。会議では、いくつかの提案を受け、同じ視点で自分と相手の意見を比べ、互いの考えを生かし合う中で意見の合意形成をすることができる。このような活動ができるのは、多くの意見を交流し合う会議が最適であると考えた。

話し合いの評価で難しいのは、形に残らないため、明確な評価が得られず、話し合う力が身に付いたかどうかを実感しづらいことである。そこで、本単元では生徒同士の相互評価において、話し合いの内容面についての評価の視点を具体的ににした。また、教師は互いの意見を生かし合う力について、学習プリントや会議での発言を通して評価することにした。さらに、座標軸を使って、同じ視点で考え、その際の位置付けや変化を考え、話し合いの過程が可視化できるようにし、それを蓄積しておくことで、他の委員会に提案をまとめる経緯を説明しやすくした。

## 六 単元指導計画（全6時間）

### 【単元のねらい】

話し合いを効果的に展開しながら合意形成するために、資料を効果的に活用しながら、話し合いの進行状況に応じて話したり、仲間の意見を生かした話し合いをしたりすることができる。

### 【単元の評価規準】

#### 【関心・意欲・態度】

・自分の考えをまとめて仲間に話したり、自分の考えを広げようと仲間の考えを真剣に聞いたりしている。

#### 【話し合うこと】

・話し合いを効果的に展開するために、話し合いの進行状況を考えながら話したり、合意形成を図るために、仲間の意見を生かして話したりしている。

#### 【言語についての知識・理解・技能】

・分かりやすい提案にするために、語句の精選や表現の工夫をしようとしている。

時	ねらい（◎学習課題）	評価規準・（評価方法）
1	陽南校区の地域活動の現状を知り、「地域のためにできること」の提案をする学習について見通しをもつことができる。 ◎「未来の地元創造会議」の単元の見通しをもとう。	会議に向けて、自分の考えをもとうとしている。（プリント）
2	「地域のためにできること」の各委員会の提案と自分の考えを比べながら聞くことができる。 ◎根拠を明らかにして、説得力のある提案をまとめよう。	班の仲間と自分の意見を比べ、自分の考えをより明確にしようとしている。（プリント）
3	保護者や地域の方に話を聞いたり、資料で得た情報を交流したりして、各委員会で提案をまとめることができる。 ◎説得力のある提案にするために、どんな表現の工夫をすればよいだろう。	説得力のある提案にするために、集めた情報をもとに、表現の工夫をしている。（プリント・交流）
4	互いの意見を生かし合いながら合意形成を図るために、自分の意見と相手の意見を比べたり、意見同士を関連させながら聞くことができる。 ◎どんな聞き方をするか、話し合いがうまく進むのだろう。	各委員会内で互いの意見を生かし合いながら合意形成を図るために、互いの意見を比べながら聞いている。（プリント・交流）
5 本時	相手の立場や考えをつかみ、新たな観点を設定することで、自分達の願いをもとに、互いの意見の長所を生かしながら、提案をまとめることができる。 ◎どうしたら各委員会の意見をまとめることができるだろう。	相手の立場や考えをつかみ、新たな観点を設定して、話し合いを展開することで、互いの意見を生かし合いながら、提案をまとめようとしている。（発言・プリント）
6	会議の様子を振り返り、自分達で納得できる提案をまとめられたことで、合意形成の力を身に付けたことが実感できる。 ◎話し合いを振り返り、自分の学びを確かめよう。	仲間の意見をつなぎ合わせたり、相違点を調整したりすることの必要を実感している。（プリント）

七、本時のねらい

相手の立場や考えをつかみ、**新たな観点を設定すること**で、**自分達の願いをもとに**、互いの意見の長所を生かしながら、提案をまとめることができる。

八、本時の展開 (5/6)

学習活動

指導・援助

導入

◇前時までの学習内容を振り返る。  
 ・私達は「十年後も残る地域活動」をテーマに「地域のために今からできること」の提案を考えた。異なる意見を整理しながら、互いの意見のよさを取り入れてよりよい提案を創っていきたい。

◇本時の課題を確認する。

どうしたら各委員会の意見をまとめることができるだろう。

◇司会が話し合いを進行する。

①委員会の代表提案発表

②司会が論点を絞る ↓【座標軸の活用】(整理する)

・観点 実現性はあるか

司会：「実現性の観点で提案を位置付けてください」  
 (座標軸へ位置付ける生徒の思考例)

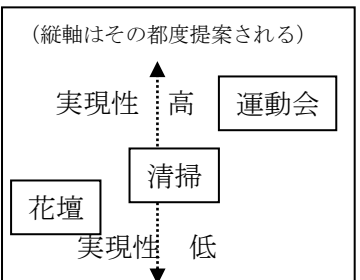
・花壇製作と清掃活動では、どちらも  
 も街がきれいになってよい。  
 ただ、花は枯れたり、しおれたり  
 て毎日の世話がいるな。

【仲間と深める場面】

みんなの考えを生かし合うにはどうすればよいか。共通の考えをもつ仲間と話し合う。

・花は枯れるが、種を取って来年に残せるなど、活動がつながるな。

◇まちづくり公社の方からアドバイスをいただく。



◇小グループで集まり、今までの意見を整理して、継続性などの新たな観点で自分たちの提案を整理し直す。

・「花壇を世話する」という提案では、定期的にやるのは難しいだろうな。期間を決めて、市民運動会の時に使う花を育てるとか、目的を持たせるとよいかもしいない。

・実現性から考えると自分達の提案は甘いなあ。他の委員会の意見で使える要素はないかな。

◇観点に沿った話し合いができたかを振り返る。

色々な考え方があったため、みんなの意見をまとめることは難しかったけど、○○さんの意見を聞いて、「地域清掃委員会」の提案と自分達の提案が一致する部分があり、まとめることができた。このように、互いのよさをまとめていけば、よりよい提案ができそうだと分かった。

・意見交流の際、活用するよい表現方法を提示する。  
 相手の立場や考えを踏まえる話し方  
 「〜は効果的ですが、・・・」  
 話題を整理し、合意形成をするための進行の仕方  
 「AさんとBさんの共通点は〜ですね。△△の部分はずっています。この点についてはどう思いますか？」

・委員会の提案(考え方)を理解したうえで、観点に沿って提案を判断するように指示する。手元の座標軸のプリントには、仲間の意見を、位置を考えてメモするよう指示する。

・自分の考えに共通点を見いだしている生徒同士が話し合うことで、実現性の高い意見を創り出せるようにする。

・話し合いが行き詰まってきたら、「実現性」以外の観点で提案を判断できないか、投げかけてみる。または、NPOの方にアドバイスをいただくなどの打開策を提案する。そこで、「継続性」の観点などを新たに座標軸の縦軸として位置付けて話し合いを進めていくよう指示する。

・振り返りでは、「相手の考えのどんなところを生かして、自分の意見が言えたか」「観点を考えながら話し合えたか」という観点で自分の話し合いを振り返っているか見届ける。

【評価規準】

・相手の立場や考えをつかみ、新たな観点を設定して、話し合いを展開することで、互いの意見を生かし合いながら、提案をまとめようとしている。(発言・プリント)

終末